

NO.7

発行 / 令和4年2月27日
編集 / 吉田矢部地区広報部会
後援 / 吉田矢部地区連合会
社会福祉協議会

会 長 所 見

吉田矢部地区連合会・社会福祉協議会会長
川 畑 孝 男

皆様こんにちは、吉田矢部地区連合会・社会福祉協議会会長の川畑です。会員の皆様には、日頃から積極的な御支援と御協力を賜り誠に有難う御座います。

さて令和3年度は、吉田矢部地区連合会・社会福祉協議会設立4年目を迎え、今年こそはと例年通り行事の実施を計画していましたが、昨年度と同様に新型コロナウイルスの感染沈静化が見られず、予防の為に諸行事・会議の中止又は、規模制限せざるを得なくなり、誠に残念で計画通りの実施を期待していた皆様方には、誠に申し訳無く思っています。

但し、その様な中で昨年度と同様に中止した「健民体育祭」の代わりに、今年度も安心して参加できる行事が出来ないものかと体育部・青指部会に企画立案を御願いし、箱根駅伝とSB食品の元選手・監督の武井隆次氏を招いて「児童向けの走り方教室と大人ランニング教室」の提案があり、令和4年1月に参加人員を制限し開催する事が出来ました。体育部・青指部会の皆様方には、本件含めその他、安心・安全に配慮した行事を実行して

頂き、誠に御礼申し上げます。また今年度の「花火大会」も昨年と同様に「コロナ収束」を願い、案内公知せず、無観客で11月に実施出来た事は誠に嬉しい事だと思っております。花火実行委員（花火師）の皆様方及び第3地区からの花火師の御支援に対し御礼申し上げます。

今年は、年始早々にオミクロン株が急激に蔓延拡大し予断を許さない状況ですが、従来通りの計画実施を願っては居ます。しかし、感染が今後も持続すると想定される場合は、知恵を絞り安心・安全に配慮した行事を企画立案し実施したく思っています。

結びと致しますが、令和4年度もIT化を持続促進すると共に、「笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち吉田矢部」を基本テーマとして来年度よりハートプラン第4期を実施致しますので、その他行事含め会員と地域皆様方の積極的且つ継続的な御支援と御協力の程、宜しく御願い致します。

では、会員と地域の皆様方の御健康と御多幸を祈念し所見と致します。有難う御座いました。



令和3年度 防災研修会



令和3年度吉田矢部地区防災研修会が11月20日午後2時から上倉田地域ケアプラザで開催されました。ここには14名が参加。

川畑会長の挨拶につづいて、戸塚区役所総務部総務課の本田危機管理担当係長による「風水害への備え」についての講演がありました。

そこでは、各自がハザードマップ等により自宅周囲にどのような危険があるかを把握することと、危険が予想される場合、どのような行動をとるかを家族とともに話し合っておくことが大切。また、

水害時の避難場所は、吉田矢部地区の場合、矢部小学校または上倉田小学校が指定されている。



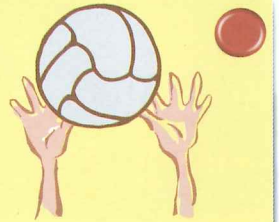
つづいて、戸塚消防署吉田出張所の藤江所長により、熱海の土砂災害における救援活動について、現場の生々しい写真を交えて報告がありました。

● ソフトバレーボール大会

秋のソフトバレーボール大会が11月28日午前9時から東戸塚小学校体育館において開催されました。ここには各自治会町内会および第三地区から15チームが集い、まず3ブロックに分かれての予選リーグを行いました。それから予選トップのチームと最上位の2位チームの4チームによる決勝トーナメントが行われました。

各試合は熱戦に次ぐ熱戦。高校生の強烈なアタックに手も出ずに立ちつくす年上の青年。青年組も負けずに巧みなフェイント。レシーブを試みるも足がもつれ転倒。会場に笑いの渦。和やかな中にも真剣な戦いが続きました。

その結果、第三地区の「ゴールドフェニックス」が優勝。準優勝は同じく第三地区の「ホワイトウイングス」、第3位は元町の「え？」でした。



ドッチビー大会



1月16日午前9時から東戸塚小学校の体育館でドッチビー大会が行われ、小学生5チーム、大人1チーム、計6チームによるリーグ戦で優勝を争いました。その結果、優勝は大人チーム、二位は元町Bチーム、三位は矢部・グランフォーレ・新プロムナード矢部の合同チームでした。

リーグ戦のあと、個人戦としてフリスビーの遠投が行われました。小学生低学年の部、高学年の部、大人の部に分かれ、試技は各人2回。もっとも遠くまで投げた人には金メダルが与えられ、3位までの人は賞品のお菓子がもらえました。



● 児童と大人のためのランニングクリニック ●

1月23日、東戸塚小学校で、箱根駅伝で3年連続区間新、4年連続区間賞の輝かしい記録を持つ武井隆次さんを講師に迎え、ランニングの講習会が開催されました。

午前9時から小学生を対象に、ランニングの際の脚の上げ方・動かし方、腕の振り方、上半身の姿勢などをひとつひとつの動作ごとに習得し、最後にそれらを統合したランニングについて学び

ました。さらに、短距離のスタートのやり方とリレーについても学ぶことができました。

10時30分からは大人を対象とした長距離走の講習会が行われました。初めは小学生と同じ基礎的なランニングのコツを学び、その後ロードレースの際の上り坂と下り坂の走法を教わりました。

最後に、東戸塚小学校と日立の周りを2周してこの日の講習会が終わりました。



● 春のハイキングツアー ●

吉田矢部地区青指・スポ推主催の春のハイキングが5月9日、夏を思わせるような気候の中、27名が参加者して開催されました。

コースは大船の「玉縄(たまなわ)首塚」、龍宝寺、玉縄城址、大船観音。その後戸塚に戻る途中で建設中の横浜環状南線栄 IC・JCT、南谷戸(みなみやと)のおおわらじ、上倉田の紅葉滝を見学。ひとりもリタイアすることなく全員が約30,000歩を歩きとおし、15時過ぎに解散しました。



● 地域ウォーク～ポイントはどこだ ●

体育部会・青少年部会主催の地域ウォークが第三地区と合同で開催されました。これは、吉田矢部地区4か所と第三地区の16か所、計20か所の公園や神社仏閣に設けられた、チェックポイントを簡単な地図を頼りに探しながら歩いて巡ります。

吉田矢部地区からは80名の老若男女が参加し、コロナ感染防止のため自治会町内会単位の少人数のグループに分かれて実施しました。



コロナ終息祈願
— 花火大会 —

11月13日、吉田矢部地区連合会の花火大会が東戸塚小学校で午後7時過ぎから約20分間行われました。今年もクラスター防止のため事前告知なし、無観客での開催でした。

なお、今年もアピタ様のご厚意により、東戸塚小学校の6年生児童のために屋上を開放していただきました。コロナ禍で行事が少なかった児童にとっては、この花火は良い思い出になったようです。今年はいっしょに花火を楽しみたいですね。



児童文化教室
クリスマスリース作り

12月4日、毎年恒例となったクリスマスリース作りが開催されました。昨年と同様、密を避けるため開催場所をグランフォーレとプロムナード矢部集会所の2カ所に設け、開催時間もそれぞれ9時からと11時からの2回に分けました。

各会場では数組の親子が、リースベースにモール、カラーボール、スター、リボン、ハートを思い思いに取付けながら楽しそうに作業を進めていました。



各地域で **どんど焼き** を開催

1月9日午前10時から小正月の風物詩、どんど焼きが吉田町周辺の自治会町内会で初めて大谷公園で行われました。始めに東峯八幡社の神職による祝詞あり、そのあとおよそ200名の参加が見守る中、積みあけられた正月飾りなどに火がつけられ、どんど焼きが始まりました。

一方、矢部町内会などのどんど焼きは、同日午前9時から矢部東公園で行われました。また、1月16日には吉田元町などのどんど焼きが吉田第一公園で行われました。

どんど焼きのはじまり

徒然草に、小正月の十五日(旧暦では満月の日)、各地で今も行われる火祭の行事「左義長」すなわち「どんど」のいわれが書かれています。古くは「三毬杖(サギジョウ)」とか「三毬打(サギチョウ)」と書かれていました。

正月に木製の毬を打って遊んだ毬杖〔正月行事の童子の遊戯に使用する、毬(まり)を打つ長柄(ながえ)の槌で「ぎちょう」または「ぎっちょう」と呼んでいた、ゲートボールのスティックのようなもの〕を集め、宮中の神泉苑で焼き上げたのがそのはじまりで、焼く間、「左義長や、東土(とんど)や」などとはやしたてていた、と説明しています。もともとは朝廷の行事だったものが民間に広がって、さらに各地に普及していったものです。

満月と神聖な火による浄化の力で、集落の人々の1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願うのが「どんど焼き」です。



大谷公園



矢部東公園



吉田第一公園